☆羅 針 盤
No.3

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2−20−4
電話　03−3790−1751
URL　http://www.tokometal.co.jp
（見学受付：電話03−3790−1751 又は 各営業担当）

「夏は来ぬ」の歌の季節に心は弾みますが、天候はなかなか定まらず、まるで現在の日本の景気のようです。そんな中で高速道路料金は、事実上値上げになる業界が多いという判断もあってか審議継続となりました。収運業界にとっては今後も目を離せない事項です。

さて、前号で紹介しましたとおり、東港金属はGW明けから新しい本社事務所となりました。搬入車の出入りコーナーもよりスムーズになっております。

発行：2010.06.01　（月1回予定）

☆羅 針 盤

鉄･非鉄スクラップ･･市況からの6月予測

営業部　Y　の考察

鉄スクラップ

現況：4月まではジリジリと上昇、指標となる東京製鉄宇都宮の鉄スクラップ購入価格が39,000円／トンまで上昇。GW明けに一転、輸出の値下げに伴い26日時点で37,500円／トン。

6月予測：↘　下げ幅1,000円／トン位か

考察）輸出が国内相場よりかなり安値であるため国内電炉メーカーの値下必至。ただし市中発生薄の状況と国内需要に回復傾向は見られる

非鉄

6月予測：↘　考察）5月のEU財政不安問題、信用不安、ユーロの下落で市場は売り、メタル全体の価格が下落。

銅

現況：GW中ジリジリと値下げ、LMEは7,000ドル／トンを割り込み、5月6日に国内銅建値が80,000円／トン下げ、640,000円／トンまで落ちたが、5月25日時点でLME7,000ドル／トン、銅建値67000円／トンまで回復。

6月予測：→　大きな動きはない

考察）EUの財政不安が落ち着くまでは上げ下げ続く

アルミ

現況：LMEアルミ新塊相場下落を受けて、合金メーカー各社の買値は15,000円～20,000円／トン下落。

6月予測：↘　考察）円高

プラスチック

現況：8ヶ月ぶりの原油価格の下げで現在80ドル／1ℓ前後。

6月予測：↘　考察）原油価格、中国の需要次第。原油80円／ℓ　為替@90円なら下げ

☆羅 針 盤

中国のリサイクルについて

回収されるスクラップの供給量がそれを使って国内で再生産されるリサイクル量（需要量）を上まってしまう場合は、輸出することでその需給バランスを図らなければ経済は成り立っていきません。内需が低迷している現在、需要が大きい中国が日本からの最大スクラップ類の輸出先となっています。中国のリサイクル産業は、機械化・省力化された日本とは違い、安価な労働力を基とした人海戦術であり、中国向けで問題としなければならないのは、環境汚染甚だしい手法でリサイクルしている会社があるということです。輸出元である我々は、現地で適正な方法で処理されているかどうかをきちんと確認しなければなりませんが、又一方、次第に厳しくなる中国の税関検査体制強化に対応できるよう品質面の安定化を図ることも必要となっております。

なぜなら、今後もし中国向け輸出がなくなった場合、業界は日本国内で原料を消費しきれるのでしょうか？　答えは明白です。

・国内メーカーだけで非鉄屑を消費できるほどの量を生産していません。
・仮に日本国内で全工程を処理することになった場合、そのコスト競争力はグローバル競争に耐えうるでしょうか？の問題が存在します。

今後ともやはり中国向けミックス原料を活用していかざるを得ません。

とはいえ、日本国内では混合原料のリサイクル技術開発を急ぎ、そのノウハウを積み上げておかなくてならないと思われます。

これは資源のない日本で、我々原料リサイクル企業がなしてゆくべき事だと認識しています。

京浜島日記　（隔月連載1）

ここは大田区京浜島。羽田空港に隣接した人工島で、昭和49年に島ができ、当社は昭和54年に港区からこちらに移転してきた。

京浜島は都内では珍しい工業専用地域となっており、当社は本社工場をおいている。ここで原料リサイクル業を営むことには大きな意義がある。

我々の営むリサイクル業は、集荷はローカル（地域密着）、出荷はグローバルであり、都心に近くアクセスの良い京浜島は関東一円からの集荷が可能である。

当社は地域企業の皆様方にどのようにメリットを享受して頂けるのかを考え抜く必要がある。それをこの連載を通じて書いていきたいと思う。

スーパーマーケットが地元密着であるように、原料リサイクルにおいても集荷は地元に向いていることが重要である。当社のいる京浜島は東京都23区内であり、オフィスビル、物流センター、ショッピング施設などが多い。これは地方の工業都市等と大きく違う点である。

狭い東京において、オフィスビルの改装・改築は夜間や日曜日に行われる。となれば、我々リサイクル業者は、夜間・日曜日に受入をしなければならないと思う。工場が少なくなっているので、昭和40年代のような旋盤の削り屑（ダライ粉）のような金属くずはあまり多くない。一方で、使い終わったロッカー等の鉄くずは大量に発生する。オフィス什器等のライトスクラップを処理したり、物流センターから出てくる梱包系プラスチックを処理できるような設備がここでは必要になる。

私たちの設備投資内容を決めるのはあくまで地元企業様から発生するスクラップや廃棄物の内容だ。そこを私たちは勘違いしてはいけないと思う。スクラップという資源や廃棄物回収を通じて、どのように地元企業様の役に立てるのか、まずはそこが私たちのスタートだと考えている。

（福田 隆　東港金属㈱代表取締役）

業界情報

ー理解していますかー

☆羅 針 盤

改正フロン回収・破壊法

オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロン類を適正に回収することを目的に、冷媒としてフロン類が使用されている業務用冷凍空調機器(エアコン、冷蔵・冷凍機器)を対象とした改正フロン・破壊法が、平成19年10月1日に施行されました。1.行程管理制度（マニフェスト）の導入　2.整備時のフロン回収義務付け3.建物解体時の対象機器の有無の確認4.リサイクル時のフロン回収義務付けなどが定められています。

しかし、まだまだ理解していない人も多いのかフロンの回収率は低く、大気中にフロンを放出する事故が起こっています。

機器からのフロン類放出は大きな環境破壊につながります。またその所有者は1年以下の懲役又は50万円以下の罰金が科せられます。

排出事業者の皆さんは、自社の業務用冷凍空調機器(エアコン、冷蔵・冷凍機器)を廃棄する場合、必ずフロン回収行程表で確実に回収されたかどうかを確認しましょう。